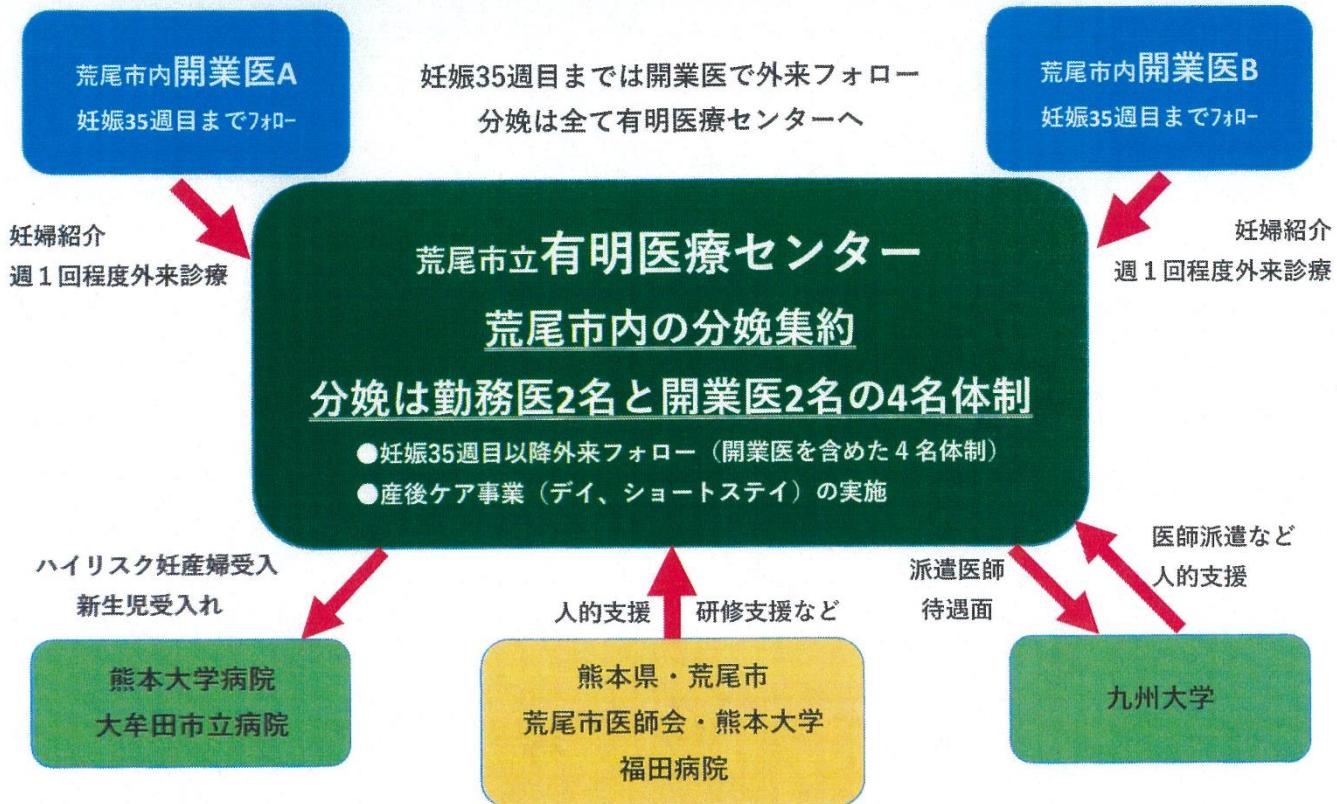


荒尾市周産期医療の連携体制のイメージ



□荒尾市周産期医療システムの流れ

【分娩施設の集約】

- ・荒尾市内の産婦人科開業医2名と有明医療センター勤務医2名の計4名が協力し、荒尾市内の分娩を有明医療センターに集約し対応。

【分娩前フォロー】

- ・妊娠35週目までは、それぞれの開業医で外来フォロー。それ以降は、有明医療センターへ紹介。
- ・妊娠35週目以降は、有明医療センターで外来フォロー。開業医2名も週1回程度外来診療を担当し、勤務医も含め4名体制で対応。

【分娩対応】

- ・分娩対応は、開業医2名と勤務医2名の計4名で対応。（平日夜間オンコールも4名体制で対応）
- ・休日及び休日夜間オンコールは、外部からの応援を依頼する（熊大医師）
- ・新生児の体調等に問題がある場合、有明医療センター小児科医も1次対応を行うが、基本的に大牟田市立病院か熊本大学病院に対応を依頼する。
- ・小児科医師の派遣について、九州大学より応援ある予定。

【分娩後フォロー】

- ・有明医療センターにおいて、産婦健診、産後ケア（デイ・ショートステイ）の実施。新生児聴力検査を実施。

荒尾市民病院（荒尾市立有明医療センター）第三期中期経営計画の一部改正

第8章 役割・機能の最適化と連携の強化

第3節 担うべき医療機能（5疾病5事業＋新興感染症対策）

旧計画	変更（案）
<p>（8）周産期医療</p> <p>地域周産期中核病院として、快適な出産環境を充実させるだけではなく、ハイリスク分娩にも十分対応できる体制を整える。</p>	<p>（8）周産期医療</p> <p>地域周産期中核病院として、快適な出産環境を充実させるだけではなく、ハイリスク分娩にも十分対応できる体制を整える。</p> <p><u>さらに、荒尾地域の周産期機能を維持するために、当院と市内産婦人科医療機関の産科医師が一体となり、分娩機能を当院に集約化する新たな仕組みとして周産期医療システムを構築し、安心して出産できる環境を維持、発展させる体制の強化を図る。</u></p>